郡山市立桜小学校
学校だより

No.３１
発行日：平成25年10月4日号
発行：郡山市立桜小学校

特設合奏部がすばらしい演奏を披露！

郡山市民文化センター大ホールで、しっかり演奏してきました

桜小特設合奏部が今年取り組んだのは、シューベルト作曲の「ロザムンデ」序曲。難度の高い曲ではあったのですが、この曲に桜小のメンバーたちはしっかりと取り組み、仕上げてきました。

シューベルトの作品には、人を惹きつける、情緒的で心に響く旋律があり、シューベルト独特の魅力となっています。演奏を始めた冒頭の部分から、聞いている人たちは、桜小学校の演奏にひきこまれていったのを感じました。シューベルトの音楽の雰囲気を十分に表現した演奏だったように思います。

ここに至るまで、子どもたちは、本当によく練習してきたと思います。演奏を始めたばかりの４年生もたくさんいました。それぞれの楽器の音を出すだけでもたいへんなのに、メロディを奏で、みんなと一緒になって演奏し、そして、今回は、市民文化センターの大ホールという大きな舞台に立ち、ちょっぴり緊張しながらも、堂々と演奏したことは、子どもたちにとっては、とっても大きな経験であり、大きな宝物になると思います。

夏休みも、汗を拭き拭き、何度も何度も繰り返し練習してきた姿を思い出します。その姿と、今回の舞台での姿をだぶらせながら、演奏が終わった時に、手が痛くなるくらいに拍手をいたしました。合奏部の皆さん本当に頑張りましたね。そして、今回の入賞（銀賞）おめでとうございます。

一生懸命に頑張っている特設合奏部に
300,000円の支援をいただく
スポーツ・文化地域子どもサポートファンドから

今回の３００，０００円は、公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンでおこなっている、「スポーツ・文化地域子どもサポートファンド」に申請をし、その内容を吟味していただいた結果、認めていただき、交付いただいたものです。

今回は、古くなってしまった楽器のうち、優先順位の一番高かった「フルート」を新規で購入し、残りはその他の楽器の修理にあてることにしました。

（バイオリン弓毛替え１７台分、チェロ駒交換３台分、ファゴット修理２台分、クラリネット修理２台分、コントラバス修理２台分、バイオリン修理６台分）

今回支援していただいたお陰で、１０月３日におこなわれた郡山市小中学校合奏祭では、購入あるいは修理した楽器を使い、思う存分演奏をすることができました。また、これからも、この楽器を使って練習に精一杯励んでくれることと思います。

セーブ・ザ・チルドレンは、英国で１９１９年に創設された援助団体で、国連に承認されている子どもたちのための国際ＮＧＯになります。セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンは、１９８６年に設立、日本を含む世界２９カ国で教育、保健、子どもの保護、災害緊急支援などの活動をしている団体です。

久留米ボランティア連絡会が、ペットボトルキャップを届けてくださいました。

１０月２日(水)久留米ボランティア連絡会（会長 森尾さん、会員５２名）が、桜小学校にペットボトルキャップを届けてくださいました。今回も写真でも分かるように、山のように集めたものを持参いただきました。同連絡会では、年に２～３回届けてくださっております。学校では、今回いただいたものも一緒にして、「世界の子どもにワクチンを」等の活動をしている団体にお届けします。